

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月19日

### 【評価実施概要】

事業所番号	3873900694		
法人名	医療法人 岩村外科胃腸科		
事業所名	グループホーム よしの里		
所在地	宇和島市吉田町魚棚20-5 (電話) 0895-52-3511		
管理者	谷口 由香		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成21年1月20日	評価確定日	平成21年3月19日

【情報提供票より】 (平成20年12月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成17年5月21日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	12人, 非常勤 2人, 常勤換算 11.8人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成20年12月1日現在)			
利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.7 歳	最低 71 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

公民館で、法人内の特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム「合同ロビー展」を開き、利用者のちぎり絵や習字、押し花等の作品を展示された。  
利用者、職員で居室の掃除は毎日されており、ご自分で洗濯物を手もみ洗いされる方もいる。習字や俳句、貼り絵を楽しまれる方や食事時「感謝していただきましょう」と挨拶して下さる方もいる。こだわりの化粧品でおしゃれに気を配っている方やハーモニカを吹いて皆さんと歌を歌うことを楽しむ方もいる。毎朝、お位牌にお茶とをされる方もいる。  
食事の準備時、利用者は、野菜を切ったり、食材を混ぜたりと、ご自分に出来ることにかかわっておられた。使い慣れた箸や茶碗、湯のみを使用されていた。ユニット間で同じ献立を分担して作り、出来あがったものは利用者職員で届け合い、交換されている。畑に野菜を取りに行ったり、後片付けや食事時の挨拶等も利用者がされ、みんなで、楽しい雰囲気のもと食事をされていた。

### 【質向上への取組状況】

#### 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、地域とのかかわりを深められた。又、この一年、運営者もともにケアの質向上を目指して協働された。

#### 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・自己評価は、運営者及び全ての職員で話し合いながら取り組まれた。

#### 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・運営推進会議時、事業所の活動報告や職員研修の内容等も報告されている。事業所の取り組みについて出席者からご意見をいただき、運営に反映できるよう話し合われている。地域の行事等の情報を得て、参加されている。

#### 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・春と秋に焼き肉や観月会等を催し、12月にはご家族も参加してホームの掃除を行っておられる。事業所では、ご家族同士のお話しの中での意見を運営に反映するよう努めておられる。家族会は、事前にアンケートを取り、ご家族の希望等を聞くようにされている。

#### 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・地域の行事(いもたき、公園の掃除等)には、利用者も参加されている。カラオケ、習字、お茶等のボランティアの方が毎月来てくれるようになっている。運営者と管理者は、自治会の総会に出席されたり、ホーム便りの配布等、地域とかがわっておられる。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム よしの里

(ユニット名) ユニット1

記入者(管理者)

氏名 谷口 由香

評価完了日

平成 20 年 11 月 25 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に作った「家庭的な環境のもとであたり前に普通の生活を」という理念があるが、開設して3年経った昨年ホームで実施してきたケアを振り返り、再度理念について見つめなおした。理念は作り変えていないが、地域の中でその人らしく暮らす支援を行なえるよう内容を確認しあった。		職員は現状のサービスに満足することなく、地域密着型サービスとしての理念を理解していきたい。
			(外部評価) 事業所理念のもとに、利用者が地域の中で暮らし続けられるよう取り組んでおられる。		事業所は、さらに、今後も地域の方達との交流を大切に、地域に出向いて行ったり、訪ねて来てもらえるような事業所を目指していきたいと話しておられた。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は常に目に付くところに明示してある。またミーティングや日々の申し送りの中で、管理者はよしの里での認知症ケアの目指すものやケアの原点でなければならぬものについて話し合い、共有し合えるように努めている。		理念を漠然と覚えているのみならず、スタッフは小さな目標（例えば月目標等）を持ってケアを行い理念を理解するように取り組めば更にサービス向上に繋がるのではないかと思う。
			(外部評価) 年4回行う全体の会議や毎月のミーティング、日々の申し送り時等で、理念に沿ったケアを実践できているかということを話し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族会や運営推進会議等で理念について説明したり、家族の方においては日常の会話やケアの中で理念に沿ったケアが行なえているか問いかけたりと、皆さんに理解して頂くよう取り組んでいる。		引き続き運営推進会議等での啓発により理念が浸透して行くよう取り組んでいきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員も利用者も地元の人が多く、近隣の方々とは顔見知りの関係であり、日常的な挨拶やお付き合いはある。また自治会に加入しているため、区費を集金に来られたり行事ごとには立ち寄っていただける関係にある。		地域の方々とは現在とても良い関係にあるため、この関係が長続きするよう、また更に多くの行事等での行き来ができるよう取り組んでいきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会の会合や行事等には声をかけていただき参加することによって、地域の方々と交流を行なっている。  (外部評価) 地域の行事(いもたき、公園の掃除等)には、利用者も参加されている。カラオケ、習字、お茶等のボランティアの方が毎月来てくれるようになってきている。運営者と管理者は、自治会の総会に出席されたり、ホーム便りの配布等、地域とかかわっておられる。		一度に全員が参加できない場合があったり、決まった方ばかりが参加したり、職員のみが参加することが多いため、事業所自体が地域の一員として交流できるように努めていきたい。  事業所では今後、地域の方が気軽に訪ねて来れ、一緒にお茶を飲みながらお話ができるような雰囲気作りに、努めていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通じたり、地位の方々から直接介護についてや、ホーム入所についての相談があった場合にはその都度対応できるように努めている。		相談を待つことのみならず、地域に貢献できるよう、又何が必要かを考えていきこちらからも働きかけていきたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 今回で4回目の自己評価、外部評価となるわけだが、年々職員の意識も向上しており、評価を実施する意義が理解できつつあると感じている。また一つ一つではあるが改善へも向かっている。  (外部評価) 自己評価は、運営者及び全ての職員で話し合いながら取り組まれた。前回の評価結果を受けて、地域とのかかわりを深められた。又、この一年、運営者もともにケアの質向上を目指して協働された。		新しい職員も入るため、引き続き評価の意義を説明し理解できた上での評価を行なうことができるよう努めていきたい。  今後さらに、評価結果やご家族のアンケート集計表等をきっかけにして、さらなる貴事業所のケアの質向上に向けて話し合われてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議は毎回茶話会形成にしてホームの取組みを話したり、評価が行なわれた後には結果の報告も行なっている。話し合いの中で出された意見は貴重だと認識しサービス向上のために活かせるよう努めている。</p>		<p>毎回出席していただけるメンバーに限られてきているため、職員呼びかけ研修報告等も行なっている。今後はより多くの家族やメンバーが参加できるような内容にも工夫をしていきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、事業所の活動報告や職員研修の内容等も報告されている。事業所の取組みについて出席者からご意見をいただき、運営に反映できるよう話し合われている。地域の行事等の情報を得て、参加されている。</p>		<p>会議に、より多くの方に出席いただけるよう、農繁期等、それぞれのご都合も踏まえ、会議開催の日程を検討していきたいと話しておられた。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議には毎回市町村担当者の参加をいただいている。その中で情報の交換をしたり不明な点については気軽な相談ができる体制にある。会議以外には介護相談員を受け入れたり、管理者は市のネットワーク会議への参加も行なっている。</p>		<p>会議等に限らず市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいける体制づくりに努めていきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者の方から運営推進会議のすすめ方のアドバイスをいただいたり、成年後見制度についての相談等をされている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る</p>	<p>(自己評価)</p> <p>管理者は地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について理解しており、相談等があれば支援できる体制にある。職員は、現在研修等への参加の段階であり制度についての知識は十分であるとは言えない。</p>		<p>研修に参加したりミーティングなどでも権利擁護については話し合いそれぞれの意識を高めるよう取り組んでいきたい。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>虐待については研修に参加したり事前に学び意識するよう努めている。こういったものが虐待に当たるのかを深く理解することにより見過ごしや防止することに努めている。</p>		<p>個々に感じる虐待を職員同士が共有することによって虐待を理解し、更なる勉強会等により意識を高めていきたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には十分な時間をとり、居室等と見学していただいたり、パンフレット等での説明をして納得をしていただいている。不安、疑問点を聞き、説明をして理解、納得を図っている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日常食事の時や入浴時に利用者と会話をしている時の顔つき等を見て、苦情や不満を察して、それらを運営に反映させている。		意思の表出ができない方においても、会話をしている時に顔つき等と見て不満や苦情を察している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 年2回のホーム便り、月1回のポストカードで利用者の暮らしぶりや健康状態を伝えている。金銭管理については毎月金銭出納簿の写しをご家族へ送付している。		時々変わったことがなくても電話をするよう努めている。
			(外部評価) ご家族の来訪時や電話でご本人の様子を伝えたり、職員の入れ替わりがあった時には報告されている。年2回の家族会やホーム便りでも事業所の取り組みや利用者の暮らしぶりを報告されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関には意見箱を設置している。家族が面会に来られた時には不満や苦情を聞く等の、環境を整えている。入居時には市役所等に苦情窓口があることも伝えている。		直接言いにくいことは、こちらから問いかけを行なうことによって、意見を聴きやすい環境を整えるよう努めている。
			(外部評価) 春と秋に焼き肉や観月会等を催し、12月にはご家族も参加してホームの掃除を行っておられる。事業所では、ご家族同士のお話しの中での意見を運営に反映するよう努めておられる。家族会は、事前にアンケートを取り、ご家族の希望等を聞くようにされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 年に数回の全体ミーティング、月1回のミーティングを行い、意見や提案を聞く場を設けている。提案書を提出し反映させている。		ミーティング後には会議記録を書き、職員全員が目を通すようにし、運営に関する職員の意見等を反映させる機会を持つことに取り組んでいる。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者や家族の状況の変化があった場合、勤務変更があることを職員は理解している。		行事等の場合は休みの職員は自主参加している。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動で利用者が混乱や不安になったりしないように、異動は必要最小限に抑えている。2ユニット間において日常や生活の中や行事等で利用者とコミュニケーションをとるようにしている。 (外部評価) 職員が入れ替わることでの利用者へのダメージを抑えるため、職員、利用者ともにユニット間で交流されている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 出勤簿に研修案内をはさんで、職員はいつでも見れるようにしている。年に2回程度受講するようにしている。 (外部評価) 全ての職員が年2回は研修を受けられるようすすめておられ、研修後は、全職員に周知する仕組みを作っておられる。又、職員は、「新しい職員に日々のケアを教える事により、自分自身の見直しにもなる」と話しておられた。		研修後はレポートを書き、ミーティング等で発表している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>2ヶ月に1度の運営推進会議で他のホームとの交流を図っている。お互いのホームに訪問している。</p>		<p>昨年発足したグループホーム連絡協議会に参加することにより、近隣のグループホームの職員との交流に努めている。</p>
			(外部評価)		
			<p>市主催のグループホームの集まりに参加し、研修や情報交換をされている。運営推進会議のメンバーとして相互に参加しあっている。時には、受診の帰り等に、利用者と共に他事業所に立ち寄ることもある。</p>		
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>ストレスをためないよう時間があるときは話し合う場を設けている。</p>		<p>今後、月に数回スポーツ等によりリフレッシュする機会を設けて、ストレスを溜め込まない環境づくりに取り組んでいきたい。</p>
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>研修会への案内をいつも目に付くところへ提示し、運営者は研修には積極的に参加できるよう、研修費の助成や勤務体制への配慮を行なっている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>利用者が安心して暮らしていけるように、コミュニケーションをとり、信頼関係を築いていくことにより不安を取り除くように努めている。</p>		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族からも色々な悩みや不安など親身な話ができ信頼関係が築けているように思う。密に連絡するようにしている。		普段からホームで話しやすい雰囲気を作ったりして、家族から気軽に困っていることなどが話せるように努めていきたい。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時に本人を家族、他の事業所も含め連絡をとり対応して努めている。その都度、その状態に応じて対応している。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居相談時に本人家族に見学に来て頂きご本人家族には、できるだけ気に入った上で入所の受け入れをしている。ご家族にもご本人が生活に慣れていただけるまでは頻回に来所して頂き、安心できるような環境を整えるようにしている。 (外部評価) ご自宅から入居に至るケースも多くあり、ご本人、ご家族に事業所を見学いただくようすすめておられる。管理者は、電話で様子をうかがったり、ご自宅を訪問し、関係作りに努めておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に外出したり、利用者同士の思いやりを教わったり、また野菜作り、干し柿、干し大根作りなど色々教えて頂いている。 (外部評価) 職員は、利用者から野菜の育て方や料理、掃除の仕方等、教えていただくことも多い。又、利用者同士が助け合う場面もあり、職員が気分が悪くなったような時にそばにいて、背中をさすってくださったこともある。		ご本人と職員が共に過ごしあえる深いつながりを大切にしていきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会時には本人の日々の様子、体調、エピソードなどを伝えご本人に対して一緒に支えていく関係を築いていけるようにしている。		ご本人と家族が共に外出したり、お話しする機会をふやしていきたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日頃から職員は本人と家族の思いを傾聴するよう努めている。また時々にししか来られない家族に対して、手紙、電話をし様子を伝えている。		行事などにはご案内し一緒に参加して頂く等、これからもよりよい関係にしていきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ご利用者の昔から懐かしい場所にドライブや散歩に行き立ち寄りたりされ人との関係が途切れないよう、支援に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者個別に話を聞いたり、食事やおやつの時間などには、利用者同士の会話が弾むように職員が仲介役をしている。また、トラブルが起こらないようにも配慮している。仲の良い利用者同士で過ごせる場所を大切にし、設置している。		認知症のレベルや性格等にかかわらず、利用者同士の関わり合い支えるようにしていきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去された方にも色々なイベントや季節の便りを送付し、家族にも気軽に来所していただいている関係である。		これからも馴染みの関係が続くように取り組んでいきたい。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			一人一人、ご本人に思いを聞くよう対応したり、希望、関心、意向を探り、気付いたことがあればメモし把握に努めている。また言葉では意思表示が出来ない方については、表情や反応から希望や好みの把握に努めている。		
			(外部評価)		
			日々のケアや会話の中から、利用者個々の思いや暮らし方の意向を探っておられる。意思表示の少ない利用者からは、表情や反応等もみて把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			本人、家族などからも新しい情報など聞き、また一人一人の暮らしの把握に努めている。面会時など家族より昔からのことなど教えて頂いている。		これからも利用者の今までの生活の背景を把握し、その人らしい暮らしや本人の記憶に残る過去の経験を暮らしの中で活かしていけるよう努めている。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人一人の一日のリズムで過ごして頂けるように努めている。身体的にもバイタルチェックをはかり、その他の状態の把握に努めている。		楽しいこと、つらいことの心の動きを観察し、心身状態の変化にいち早く気付けるように関わりを多くもって行きたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人や家族の意向を聞きカンファレンスやミーティングにおいて本人がより良く暮らすため介護計画を作成している。年に2回の家族会を必要に応じて集まれる機会を作れるようにしている。		家族の面会時等を利用し、時間がとれる時をカンファレンスの機会として要望を取り入れていきたい。
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時や家族会時等、ご家族の思いを聞き取り、計画に採り入れておられる。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			毎月末にはモニタリングを行い、見直しの機会を設けている。その都度、必要な場合は関係者で話し合いを行い、現状に即した新たな計画を作成している。		早期に状態の変化に気付き介護計画の見直しができるように取り組んでいる。
			(外部評価)		
			介護計画の内容について、毎月職員で確認し合う機会を設けておられる。ご家族からの情報やご本人の状態に変化が生じた場合には、計画を見直すようにされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にケース記録を作成し、日勤、夜勤帯とご本人の状況を記入している。排泄、食事摂取量、バイタル等も記録し、介護計画の見直しに活かしている。		ささいな事も気付けば、職員間で情報を共有できる様に日々努めている。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			買い物や散歩、美容院等、個別に外出の支援を行い、ご本人の要望、希望に添えるように支援をしている。眼科や歯科等、ご本人の希望される病院に職員が同行し支援している。		
			(外部評価)		
			近くの美容院に行かれたり、お墓掃除やお参り時に同行することもある。公民館で、法人内の特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム「合同口ビー展」を開き、利用者のちぎり絵や習字、押し花等の作品を展示された。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 月に数回、ボランティアの方々の協力を得て、カラオケ、習字、押し花、お茶のクラブを行なっている。年2回消防署の協力を得て、避難訓練も行なっている。公民館のロビー展に作品を展示したり、かまぼこ展の展示も行なっている。自治会の芋炊きにも参加したり、公園の掃除にも参加している。		これからも、地域の催し物等にできるだけ参加して、交流を広めていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 今のところ、他のサービスの要望を聞かれたことはないが、必要に応じた対応をしていきたい。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターとは、管理者が地域ケア会議への出席をする等、協働している。ケアネットワーク会議にも出席している。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体が医療機関であるがご本人や、ご家族の希望される医療を受診されるよう支援している。ご家族のかわりに同行することもあり、その都度、結果を連絡し合い納得が得られるよう支援している。 (外部評価) ご本人、ご家族の希望される病院での受診を支援されている。眼科、歯科はこれまでのかかりつけ医を受診されている。緊急時には、隣設の母体病院から看護師の方が駆けつけてくれるようになっており、母体病院に入院される際、職員が点滴等に付き添うこともある。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関には、認知症に詳しい医師が常駐しており、身体的、精神的変化も含め細かく報告し利用者が診断や治療を受けられるよう支援している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師とは連携がとれ、昼夜を問わず気になることは気軽に相談できる関係にある。また、看護師による研修を2ヶ月毎に行い、個別に合った支援をしている。また看護師が週1回訪問し健康チェックをしている。		研修を受け、医療に関する知識を広げ、これからの介護に役立てたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は医療機関、ご家族ともに密に連絡を取り合い、様子を聞くなどして早期に退院できるよう支援している。		入院されている時は状態に応じて、利用者と共に職員は、お見舞いに行ったりしている。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居の際にはご本人、ご家族より、重度化した時や終末期についての考えを聞くようにしている。またそうなった時には段階段階で話し合いを持ち状態に応じた対応ができる様環境を整えているが、職員全員は共有していない状況である。		今後は重度化や終末期に向けた方針の共有をしていきたい。
			(外部評価) 入居時、利用者ご家族と重度化や終末期について話し合い、希望をうかがうようにされている。母体法人医師は、よく事業所を訪れ、個々の様子をみておられ、利用者、ご家族、職員の安心につながっている。		利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、方針をみなで共有し、今後、ご家族等とも話し合いを重ねていかれてほしい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関との連携は十分にとってあり、その方の状況に応じた支援体制は出来ている。職員は本当の終末期を経験した事がないので不安はある。		医療面への知識を深め終末期においても不安がない様に勉強会を重ねて行きたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 入居時にはご本人、ご家族より以前の生活について詳しく情報収集を行なうようにしている。入居後はカンファレンスや申し送り、情報交換を行いダメージを最小限に抑えるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) トイレの際には他者に気づかれないような声掛けを行なっている。入浴時には衝立を使用し、プライバシーへの配慮をしている。なお個人記録については、鍵のかかる書類庫へ保管している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、排泄の自立に向けた支援に力を入れて取り組まれており、トイレ誘導等をすすめ、利用者全員が布パンツを使用されていた。失敗した場合は、小さく声掛けされ、個々に配慮されていた。浴室には衝立を置き、入浴中の札をかけておられた。</p>		<p>居室へ訪問する際はノックをして入室することを忘れないようにしていきたい。トイレ誘導時は、声のトーンに気を配りプライバシーを損ねない声掛けをしている。</p> <p>職員は、利用者への声かけ等の研修を受け、日々のケアに活かしていこうとされている。</p>
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人のしたい事をゆっくりと聞けるような声掛けや雰囲気作りをしている。自己決定においては返事を急がずコミュニケーションを取りながら能力にあわせて支援している。</p>		<p>昔よくしていたこと、得意だったことなど会話をしながら見つけ出して、本人らしい生活を送れるように支援していく。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) ご利用者の話に耳を傾けどのように過ごしたいのか把握する。その日の体調にあわせ、一人ひとりのペースを乱さないよう支援している。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、午前中、庭のベンチで過ごす方や髭を剃る方、食材の買い出しに行く方等の様子がうかがえ、職員は、利用者の状態もみながら、それぞれに合わせて生活を支えておられた。</p>		<p>食事のペースがおそい方においては、急がずにゆっくりと楽しみながら、食事をしていただいている。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出来るだけ本人の希望に添って、着ていただいている。汚れや乱れがあった時はさりげなく声掛けをする。散髪等は本人の希望に添うように支援している。		体温調節のできにくく重ね着されておられる方にはさりげなく声掛けをし、適切な更衣をしていただく。裏がえし、前後を間違っておられる場合は自尊心を傷つけることのないようさりげなく声掛けをする。おしゃれについては外出の際洋服だけでなく、お化粧品などの身だしなみも支援できるように努めたい。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に食事をしながら、好みのおかずを聞きメニューに取り入れている。その人に応じて食べやすく切ったり、量を調節して食事を楽しんでいただいている。後片付けは皆で出来ることを行っている。  (外部評価) 食事の準備時、利用者は、野菜を切ったり、食材を混ぜたりと、ご自分に出来ることにかかわっておられた。使い慣れた箸や茶碗、湯のみを使用されていた。ユニット間で同じ献立を分担して作り、出来あがったものは利用者と職員で届け合い、交換されている。畑に野菜を取りに行ったり、後片付けや食事時の挨拶等も利用者がされ、みなで、楽しい雰囲気のもと食事をされていた。		一緒に畑に行き採れたての新鮮な野菜を出している。下ごしらえは積極的にしていただけるが、味付け等も行えるような支援もしていきたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 買い物に出掛けた際、ご自分で好みのものを選んでいただいている。お酒については行事のときなどに楽しんでいただいている。		冬場寝つきが良いようにホットミルク、梅酒、甘酒等で身体を暖めて休んでいただくよう努めていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を作り排泄パターンを把握して個別に声掛けをしている。失敗しても自信を失わないような声掛けをしている。手順がわからない時はさりげなく声掛けし忘れないようにする。		排便について出にくい方のためにヨーグルトなどで自然な排便が出来るようにする。体操なども取り入れ自然な排泄ができるようにする。



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			好みの湯加減を知っていて気持ち良く入浴していただいている。洗えないような手の届かないところは手伝っている。		仲の良い方なら一緒に入りお互いに洗ったりしてお風呂を楽しんでいただいきたい。
			(外部評価)		
			お風呂がお好きな方が多く、利用者個々の好みの湯加減に配慮し、入浴剤を使うこともある。時には、利用者同士で入ったり、職員と楽しくお話しをしながら入浴されている。利用者の好みのシャンプーや石けんを使用されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は庭で日光浴を行ない気持ち良く休息していただいている。散歩などをして安眠できるよう心がけている。		布団を干して気持ち良く休んでいただきたい。冷え性の方には寝る前に足浴をして安眠していただきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			昔しておられたこと、得意な事などをよく理解し掃除、洗濯、食事作り、食器洗い等、役割意識を持っていただいている。		習字、カラオケ、図書館、喫茶店へ行く等、楽しみにしていることを把握して、個別に支援していきたい。誕生日には本人がお好きな物を作り皆でお祝いをしている。
			(外部評価)		
			利用者、職員で居室の掃除は毎日されており、ご自分で洗濯物を手もみ洗いされる方もいる。習字や俳句、貼り絵を楽しまれる方や食事時「感謝していただきましょう」と挨拶してくださる方もいる。こだわりの化粧品でおしゃれに気を配っている方やハーモニカを吹いて皆さんと歌を歌うことを楽しめる方もいる。毎朝、お位牌にお茶とをされる方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望や力に応じて持っていただいている。		買い物で出掛けた際には出来るだけ財布を持っていただき自分で支払うよう支援している。

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			<p>天気が良い日には、外に出て散歩や日光浴などを行っている。外出支援や1年の行事予定表を作り、季節にあった所に外出している。ご家族の方にも声をかけて、一緒に行っていたい。</p>		
			(外部評価)		
			<p>芝生の庭での日向ぼっこや散歩、近くのスーパーへ歩いて買い物に行かれたり、季節を楽しむ外出の際には、ご家族の方々にも声をかけて一緒に楽しんでいる。</p>		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			<p>他者の方と一緒に散歩がてら、外出をしている。お寺など行き、季節を感じて頂いている。</p>		<p>普段いけない所へも外出することができた。大型バスで城川町かまぼこの板展会や三間町のイルミネーションを見にほぼ全員出掛けた。</p>
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			<p>いつでも、気軽に電話をかけたり出来るように支援している。本人がかきたい時にはいつでも、かけれるように環境を整えている。</p>		<p>訴えない方でも、定期的に手紙やハガキを書いて頂けるように心がけたい。</p>
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			<p>面会時間は規制しておらず、いつでも来やすい雰囲気を作っている。いつでも気軽に来て頂けるように居室などを開放している。</p>		<p>職員の方から、近隣の人達に声をかけ利用者さんの友人等に来て頂けるように心がけていきたい。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は、すべての職員が理解しており、拘束のないケアをしている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中は鍵はかけておらず、いつでもご面会に来て頂けるように普段から、鍵をしないように、心がけている。職員は常に利用者の確認ができるようにしている。		不穏時には特に注意し共に出掛ける等、早めの対策をしている。またゆっくり話しをしたり、職員の手伝いをして頂くことにより気持ちが落ち着くよう取り組んでいる。
			(外部評価) 門は、国道に面しているが、安全に配慮し、開放されており、玄関にも鍵は掛かっていない。庭の木戸も、いつでも出入り出来るようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に職員は利用者の居場所の確認をしている。そのうえで職員との声かけを大切にして、毎日のケアをしている。		いつもと違った様子を早く感じ取り、安全を心がけていきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 針など出した時には、使用前使用後の本数の確認をしている。職員全員が管理方法を決めている。		事故などのないように職員同士が、声をかけあい確認をしていきたい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 本年度より、行方不明対策マニュアルを作り、職員全員が目を通している。他にもマニュアル等を作り対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 母体の看護師に2ヶ月おきに指導、講習をして頂いている。急変や事故発生に職員全員が対応できるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に自主訓練を行い、出口の確認をしている。また近隣の方に運営推進会議を通じて協力を得られるようにしている。 (外部評価) 自主的に避難訓練に取り組みされており、毎月、避難口の確認と非常階段を安全に降りられるように練習されている。地域の方々にも、自治会の総会や運営推進会議を通して、協力の依頼をされている。		今年度より1ヶ月に1度、自主防災訓練を取り入れ職員、利用者共に防災に対する意識を高めるよう取り組んでいる。 地域の方々に事業所の建物の構造を知っていただいたり、災害時、地域と協力し合えるような体制作りや事業所のできることにについても話し合ってみてはどうだろうか。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 普段起こり得るリスクについては、入居時や面会時また会議等において管理者から家族に伝えている。随時説明することによって抑圧感のない生活を理解していただくように努めている。		今後も起こりうるリスクに関して、その都度、ご家族に話すように心がけていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、バイタルチェックを行い、変化があれば、再検し状態の変化を見極め、顔色等を常に見ている。変化があれば申し送りにて職員全員に伝えるように心がけている。状態によっては、協力医療機関への報告を行っている。		ご利用者の小さな変化や、いつもの違う様子などを見逃さないよう、日頃から観察できるように心がけたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		<p>服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>(自己評価) 副作用などすべては把握できないため事務所に一人ひとりの服薬リストを置き、いつでも確認できるようにしている。服薬の際にはご本人の薬であることを十分に確認し支援している。</p>		<p>日常生活において一人一人の状態を十分に把握し、症状の変化により薬が変わった時は申し送り等により、職員全員が把握できるようにしている。</p>
75		<p>便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 朝食時の牛乳や食事やおやつ時以外でも水分摂取への支援をしている。また野菜中心の献立を取り入れている。居室に閉じこもったり、長い間同じ姿勢でおられる方には声掛けをして身体を動かすようにしていただき、自然排便を促すように努めている。</p>		<p>テレビでの体操番組時には声掛けをして皆さんで身体を動かすように心がけている。</p>
76		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 習慣として毎食後自ら磨いている方もおられるが、忘れていた方には声掛けをし、出来る限りご自分で磨いていただくようにしている。</p>		<p>協力医療機関である歯科医師に1か月に1度程度口腔内の検診を行なっていただく予定である。</p>
77	28	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>(自己評価) 母体の医療機関の栄養士による献立表を元にご利用者の希望されるメニューを取り入れ食事作りに取り組んでいる。一人ひとりの食べる量を十分に把握したうえで配膳を行っている。ご利用者が希望される時にいつでも水分摂取できるように支援している。</p> <p>(外部評価) 職員は、一人ひとりの「食べられる量」を把握し、その人に合った量を準備されている。食事時、お茶のお代わりを聞かれたり、居室には、急須等でお茶が準備されていた。</p>		<p>食事摂取量や水分摂取量は利用者の状態を考慮しながら支援している。</p>
78		<p>感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>(自己評価) 外出先から帰った時や食事前には手洗いうがいを行っている。毎年のインフルエンザ予防接種を欠かさず受けている。毎日の台所用品の消毒をして感染症の予防に努めている。</p>		<p>外科の看護師による感染症の研修を受けていて、今後もグループホーム連絡協議会が開催する感染症の研修を受けていく予定であり、感染症予防に対して知識を身につけていきたい。</p>

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食器や調理器具等はその都度洗い清潔を保てるよう定めた場所に管理している。食材は近くのスーパーや町内の業者から新鮮な野菜や安全な食材を購入し職員が管理している。		ホームの畑でボランティアの協力を得て野菜を作っており、新鮮な旬の野菜を使うことができる。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 花壇や玄関周りには季節の花を植えたり、植木を飾ったりしている。庭にはベンチを置きご利用者が日なたぼっこなどしている様子を垣根越しに見ることができる。公共の道路からの出入り口があり常に開放しているため、安心して出入りできるような環境を整えている。		ご利用者が庭で団楽していると垣根越しではあるが、声を掛けて頂く方もおられ時には話がはずむ時もある。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有の場である居間ではご利用者が快適に過ごせるように季節感を味わう事のできる壁面を飾ったり、季節の花を生けたりしている。 (外部評価) 今年の干支や節分の貼り絵、利用者個々の習字や俳句の作品も飾られていた。手作りの大きな日めくりカレンダーは、利用者とともに毎日めくっておられる。2階ユニットは、こたつがあり、テレビは、普段、好きな番組だけを楽しむようにされている。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間である居間にはじゅうたんを敷き手作り座布団を置いて誰でも自由に過ごせるようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ご利用者の使い慣れた家具や仏壇を持ち込んでいただき、ご家族の写真を飾ったりされている方もおられる。しかしクローゼットが広くたんす代わりにしているため、家具の持ち込みの少ない方がおられる。そのため居室内が殺風景にならないように月ごとのカレンダーや写真などを飾っている。		
			(外部評価)		
			居室には、ご本人の使い慣れたタンスやワゴン、テレビ、仏壇等が持ち込まれており、壁には、パステルカードや手作りのカレンダーが飾られていた。好みの洋服や化粧品等がある居室もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			季節や気温、ご利用者の状態に応じて窓を開けたり、空気の乾燥時には加湿器を用い換気にも注意して快適な環境を作るようにしている。衣類にしみついたにおいを洗濯の際に除菌、消臭などの洗剤を使用しにおいの軽減に工夫している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			共用の場である廊下、トイレ、浴室、階段には手すりがあり、移動される際には十分に確認していただいている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			混乱状態が続く場合にはご利用者の思いを聞き不安を取り除くため話し合っている。お一人お一人の理解できる力を活かして、混乱を招かないように居室や共用の場の表示をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑には旬の野菜を植えており、タネをまいたり、収穫をしている。庭において夏祭りやお月見、ソーメン流しなどの行事にはちょうちんを飾り雰囲気を楽しんでもらい楽しんで会食していただいている。		天気の良い日は庭に出てベンチに座り、ひなたぼっこをしながら、話したり、ボール遊びをしたりして、積極的に利用している。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活や会話の中から思いや願いを受け止めるよう努めている。しかし、職員の思い入れのみならず利用者の真の思いを受け止めるよう努力していきたいとは思っている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食後等に共にお茶を飲んだり話をしたり、ゆったり過ごす時間を作っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	あまり時間や決まりごとを作らないようにしているため、一人ひとりのペースで生活されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	レクリエーションや行事の際には生き生きとした表情や姿を見ることができる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者本人の希望に添えるように計画を立てているが、全ての方に対応できていない場合もある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関も近隣にあり、又毎朝のバイタル測定も行い異常がないことを伝えることにより安心して過ごされている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ケアの面、ご本人の生活全般においても要望があればその都度対応している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	良く面会に来られるご家族においては信頼関係が出来ていると感じている。しかし、遠方のご家族とは更なる信頼関係を築いていけるよう努力する必要がある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	病院帰りのお友達やご近所の方が良く訪ねてこられる。



項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えている (自己 評価) ② ① ③ ④	運営推進会議を通じたり、自治会に加入することで今まで関わりが薄かった地域の方々との交流の機会も増えている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己 評価) ① ② ③ ④	職員同士が悩み事や思いを話し合ったり、助け合うことでストレスを溜め込まないようにし、利用者との良い関わりを持つことにつなげている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ① ② ③ ④	利用者からの不満の声は聞かれないため概ね満足されているのではないかと感じている。しかし思いを表出できない方もおられるため、職員は自己満足しないよう質の向上に向けて取り組んでいきたいと思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ① ② ③ ④	ご家族からも面会時や電話等によりお礼の言葉等を聞かせていただくことがあるため、概ね満足されていると感じている。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 昨年の改善点である地域の交流を深めることについては、昨年より一歩前進して運営推進会議を利用して、会議だけに終わらず観月会への参加等で地域の方々との交流を深めることが出来た。なお災害時の対応については、年2回の訓練の他、毎月の自主訓練を取り入れた。それによって職員も利用者も災害に対して意識を高めている。
- ・ 季節に応じた行事を月1回から2回程度予定を立てて行なっている。
- ・ 食材は地元の業者等を利用したり買い物に出掛けることによりホームを知っていただく機会を設けている。なお季節の野菜はボランティアの方のお力を借りて利用者と職員とで作っている。
- ・ ケアに関しては個別の意見を聴いて、なるべく希望に添えるような体制を整えている。